

平成28年度 学校評価(自己評価)

池上学院高等学校

項目	今年度の重点評価項目	評価	項目ごとの評価内容	改善事項と改善方法
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動に建学の精神が反映されている。</li> <li>・教育理念の共通理解が図られている。</li> <li>・教職員の協力体制の下、円滑な学校運営がなされている。</li> <li>・職員会議が情報交換、共通理解、課題検討の場として有効に機能している。</li> <li>・教職員や生徒に対し、防災訓練を実施するなど、災害への対応を取っている。</li> </ul>	A A A A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全項目で肯定率80%以上のA評価であった。特に「教育活動に建学の精神が反映されている。」という項目は100%であった。</li> <li>・職員会議の機能についての理解に些か差が見られた。</li> <li>・防災訓練の実施について、地域キャンパスにおける評価と札幌における評価に差が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議の機能を明確にし、起家から決定に至る経緯を含めて一層の共通理解を図る。</li> <li>・地域キャンパスでの防災訓練の定例化と、救命救急講習の特別活動への組み込みを検討。</li> </ul>
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌間や、キャンパス間の連絡・調整や協力体制が図られている。</li> <li>・各分掌やキャンパス間で活動の記録・資料が適切に保管され、活用が図られている。</li> <li>・教職員が職務に責任を持ち、意欲的に仕事をしている。</li> <li>・施設・設備は適切に整備・保全されている。</li> <li>・業務の効率化と職員の意思疎通のため、組織やIT環境の整備が図られている。</li> </ul>	A A A A A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全項目で肯定率80%以上のA評価であった。特に「各分掌やキャンパス間で活動の記録・資料が適切な保管され、活用が図られている。」と「教職員が職務に責任を持ち、意欲的に仕事をしている。」という項目は、共に100%であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年進めている、地域キャンパスをも含めた池上ネットによる情報共有化の成果が表れてきている。</li> <li>・行事、その他の業務のデータ化を図り、PDCAサイクルを機能させる。</li> <li>・これからは業務のデータ化を一層進め、ベテランの経験や運営方法での地域キャンパスでの成功事例なども共有化できるよう図ると共に、教職員の間の情報処理能力の継続的な研修を推進する。</li> </ul>
教育活動全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態を把握し、個に応じた指導をしている。</li> <li>・生徒の人権を重んじ、一人ひとりの理解を深める努力をしている。</li> <li>・教育方針に対する共通理解のもと、教職員相互の連携・協力ができている。</li> <li>・成績および出席管理を正確に行い、適切な情報提供を行っている。</li> <li>・教育活動の成果を適切に評価し、次の改善に生かしている。</li> <li>・行事等、特別活動の充実に取り組んでいる。</li> <li>・教職員は研究・研修に計画的・意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	A A A A A A B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7項目中6項目で肯定率90%以上のA評価である。特に「生徒の実態を把握し、個に応じた指導をしている。」と「生徒の人権を重んじ、一人ひとりの理解を深める努力をしている。」と「成績および出席管理を正確に行い、適切な情報提供を行っている。」の3項目は100%であった。</li> <li>・「教職員は研究・研修に計画的・意欲的に取り組んでいる。」の項目のみ肯定率が75%のB評価であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が多様化してきている中で、教職員の研修の拡充と推進を行う。</li> <li>・教職員の研修の計画的・組織化を図り、研修成果の共有のための公表・保存・公開を検討する。</li> </ul>
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の「興味・関心」、「やる気」を引き出す指導を行っている。</li> <li>・自学自習を支援するための適切な添削指導がなされている。</li> <li>・生徒の実態を踏まえた適切な報告課題を作成している。</li> <li>・基礎的・基本的な内容が定着するよう、指導内容の重点化や指導法の工夫をしている。</li> <li>・学習に困難を抱えている生徒に対して、十分な学習支援ができています。</li> <li>・学習指導を通して、教師と生徒の信頼関係を築く授業や添削指導をしている。</li> </ul>	A A A A A A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全6項目の平均肯定率は83.3%であり、全項目A評価。特に「生徒の「興味・関心」、「やる気」を引き出す指導を行っている。」と「基礎的・基本的な内容が定着するよう、指導内容の重点化や指導法の工夫をしている。」の2項目は100%であった。</li> <li>・「生徒の実態を踏まえた適切な報告課題を作成している。」と「学習指導を通して、教師と生徒の信頼関係を築く授業や添削指導をしている。」の2項目は共に肯定率が91.7%であった。</li> <li>・「自学自習を支援するための適切な添削指導がなされている。」と「学習に困難を抱えている生徒に対して、十分な学習支援ができています。」の項目が共に肯定率83.3%となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・池上式アクティブラーニングをはじめ、効果的な指導法を、個々の教員の工夫と全体研修を通して修得し、面接授業の活性化を目指す。</li> <li>・多様な生徒の指導法や教育課程の発展性や弾力性も併せ検討する。</li> </ul>
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導の具体的方法について、共通理解を図り、指導の統一を図っている。</li> <li>・問題行動に対して、全職員で情報を共有し、協力して指導に当たっている。</li> <li>・いじめ、ネットトラブル、その他、安全教育について適切な啓発活動を行っている。</li> <li>・生徒会(校友会活動)、行事等において、生徒の自主性を育てる指導をしている。</li> <li>・指導の記録等、個人情報適切に管理し、活用している。</li> </ul>	B A A A A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全5項目の平均肯定率は85.3%とA評価に位置する。ただ、総合コースと一般コースでは指導目標が異なり、評価に差が出たことから「生徒指導の具体的方法について、共通理解を図り、指導の統一を図っている。」の項目だけ肯定率が70.0%であった。</li> <li>・「生徒会(校友会活動)、行事等において、生徒の自主性を育てる指導をしている」の項目は、総合コースでは100%の肯定率だが、一般コース特に地域キャンパスでの肯定率は75%となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会(校友会活動)・行事における、実行委員会方式の活用など生徒の自主的運用を促す指導を一層促進させる。</li> <li>・生徒の困り感や状況をよく把握すると共に、変化に対応した情報を整理し、共有化を図り、指導に反映させる体制を拡充する。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き方を主体的に考え、進路を選択できるように計画的・組織的に指導を行っている。</li> <li>・生徒一人ひとりの能力・適性を把握し、自己実現を図る指導をしている。</li> <li>・進路選択・決定にあたり、保護者と連携して適切な指導を行っている。</li> <li>・進路に関する資料や情報の収集・整理を適切に行い、効果的に活用している。</li> <li>・進路に関する個人資料を整え、各種手続き・作業を確実に行う手順を整えている。</li> <li>・上級学校、ハローワーク等の外部機関と連携し、キャリア教育を推進している。</li> </ul>	A A A A A A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全6項目の平均肯定率が91.65%で、全項目A評価である。特に「生徒一人ひとりの能力・適性を把握し、自己実現を図る指導をしている。」と「進路選択・決定にあたり、保護者と連携して適切な指導を行っている。」の3項目は、共に100%の肯定率である。</li> <li>・他の3項目も共に肯定率が83.3%で、A評価ではあることから、生徒一人ひとりと丁寧に向き合い、資料の提供、保護者等との連携をきめ細かく行う指導ができていると思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に高い評価に甘んずることなく、生徒一人ひとりのキャリア・プランニングにそぐう進路指導のあり方を充実させる。</li> </ul>
担任HR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生徒の抱える課題を職員間で共有し全体で取り組んでいる。</li> <li>・不登校や様々な対応を必要とする生徒への理解を深め、保護者等との連携ができています。</li> </ul>	A A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全2項目共に肯定率100%でA評価である。課題の共有と生徒理解の深さを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い評価に甘んずることなく、生徒に寄り添いながら、生徒に自信と希望を持たせ、自己肯定感や自己有用感の育成に取り組む。</li> </ul>

【評価基準】

- A: できている 「目標に対して肯定率80%以上」
- B: ほぼできている 「目標に対して肯定率60%以上80%未満」
- C: あまりできていない 「目標に対して肯定率40%以上60%未満」
- D: できていない(指導方法の見直し) 「目標に対して肯定率40%未満」